



「自学・友愛・自律」

令和8年4月24日

第3号

鶴中だより



Good job!

4月20日部発足会～部活動を通して学んでほしいこと～

先日、部活動発足会を実施しました。各部活動において部長・副部長などの役員を中心に、活動目標や内容の確認を行いました。新たな体制のもと、生徒一人一人が自分の役割を意識しながら、主体的に活動に取り組んでいます。

① 継続する力（あきらめずにやり抜く）

うまくいかないときでも投げ出さず、コツコツと努力を積み重ねることが大切です。結果だけでなく、その過程で身につく粘り強さを育てていきます。

② 仲間を大切にできる心（協力・思いやり）

同じ目標に向かう仲間と支え合い、励まし合うことを大切にします。あいさつや声かけなど、日常の関わりを通して、チームとして成長していくことを目指します。

③ 礼儀・感謝の気持ち（人間性）

指導してくださる先生、支えてくれる家族、応援してくれる人たちへの感謝を忘れず、礼儀正しく行動することを大切にします。これらは、活動の場を越えて将来にわたって生きる力となります。

保護者の皆様へ

いよいよ本格的に部活動が始まりました。部活動の意義は上記の三点にとどまるものではなく、学校生活や将来の社会生活においても大いに役立つ力を育むものです。

保護者の皆様には、お子様への温かい励ましと支えをお願いいたします。また、お子様が悩んだときや困難に直面したときには、学校と家庭が連携しながら支え、成長につなげていきたいと考えております。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査実施

3年生は4月22日（水）23日（木）の2日間、全国学力・学習状況調査（国語・数学・英語・学習状況）および県基礎学力調査（社会・理科）に臨みました。なお、英語「話すこと」の調査は5月に実施されます。これらの結果は7月以降に公表され、報道でも大きく取り上げられます。石川県は例年、全国的に見ても各学年・各教科で上位に位置しており、高い学力水準を維持しています。

近年、この調査はタブレット端末を活用した CBT（コンピュータ使用型調査）への移行が進み、出題形式も大きく変化しています。動画や音声を用いた問題など、デジタルの特性を生かした出題が増えており、単なる知識だけでなく、思考力や表現力、そして根拠を明確にして説明する力が求められています。また、日常の授業における ICT の活用や読解力向上への取組が、学力の定着に大きく関わっていることも明らかになっています。

3年生の皆さんは、これまでの学びの成果を十分に発揮できたでしょうか。今年度は進路選択という大切な節目の年です。自分自身の課題と向き合い、その克服に向けて主体的に挑戦していくことが重要です。皆さんの周りには、支えてくれる多くの大人がいます。安心して一步を踏み出し、ともに成長していきましょう。

定期（中間・期末）テスト前の部活動のお休みについて

定期テスト（中間・期末）の5日前からテスト終了日までを、部活動停止期間とします。これは、テストに向けて学習時間を十分に確保し、落ち着いて学習に取り組める環境を整えるためです。テスト前は、これまでの学習内容をしっかりと復習し、基礎・基本の定着を図るとともに、入試を意識した学習に取り組むことが大切です。

また、今年度より、定期テスト終了日は、部活動なしとします。緊張から解放された心と体を休めるとともに、テストの振り返りを行い、自分の課題を見つめ直して今後の学習につなげる時間としてください。

tetoru ご登録ありがとうございました。

学校からの連絡（全体・学年ごと）や各種お便りの配信、部活動の連絡にも活用していく予定です。保護者の皆様には、欠席や遅刻等のご連絡に便利に活用していただければ幸いです。

なお、欠席の連絡の際、「理由：選択してください」という入力部分があります。その中に「体調不良」という選択肢がありますが、その「体調不良」を選んだ場合、備考欄にコメント（250字まで）を入れ、どのように体調が悪いのか、具体的に入力してお知らせいただくよう、ご協力をお願いいたします。

生徒指導サポーター

昨年度に引き続き小田 初則（こた はつのり）さんに、生徒の様子を観ていただきながら、よりよい学校生活に向けて様々なアドバイスをいただきます。

『ありがとう』③

☆あいさつの輪をひろげたい☆

毎朝の「おはようございます」、廊下ですれ違うときの「こんにちは」、帰り際の「さようなら」。何気ないあいさつですが、自分から声をかけてくれる皆さんの姿に、いつも心が温かくなります。その一言が、相手の気持ちを明るくし、学校全体にやさしい空気を広げてくれています。あたり前のように、決してあたり前ではない、その素敵な行動に、心から「ありがとう」と伝えたいと思います。

これからも、そのあいさつの輪を大切にしながら、みんなでよりよい学校をつくっていきましょう。